

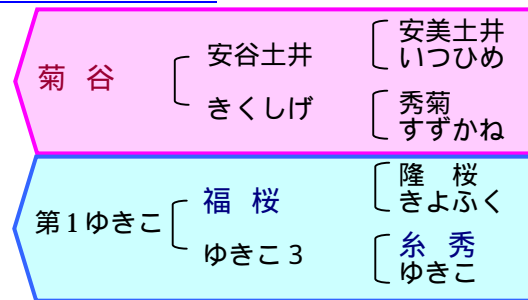
肉質に優れた県産黒毛和種種雄牛「菊福秀」の作出

平成17年度に産肉能力検定（現場後代検定法）を終了した「菊福秀」の検定成績が特に優れていたことから、県の基幹種雄牛として選抜し、凍結精液の供給を開始しました。

後代検定の概要

現場後代検定法では検定場所を複数の肥育農家等とし、去勢又は雌産子計15頭以上を用い慣行法により肥育を行います。肥育終了時月齢は雌で32ヵ月齢、去勢で29ヵ月齢未満としており、枝肉格付成績を取りまとめ、検定成績の優れたものを県の基幹種雄牛として選抜します。

「菊福秀」血統



平成12年7月23日生



表1 「菊福秀」現場後代検定成績 (kg, cm², cm, %)

項目	去勢	雌	岩手県出荷平均(H14.1~H17.3)	
	(n=8)	(n=7)	去勢 (n=15,933)	雌 (n=11,002)
出荷月齢	27.2	28.0	29.8	29.3
枝肉重量	393	358	435	367
ロース芯面積	57	55	53	50
バラの厚さ	7.0	7.0	7.5	7.1
皮下脂肪厚	2.1	2.7	2.1	2.4
推定歩留	74.7	74.2	74.0	73.9
脂肪交雑()	8.0	7.5	5.6	5.6
枝肉格付	A5:9	5等級率:60.0%	5等級:20.2%	
	A4:5	4等級率:33.3%	4等級:34.3%	
	A3:1	4・5率:93.3%	肉質等級4・5率:54.6%	

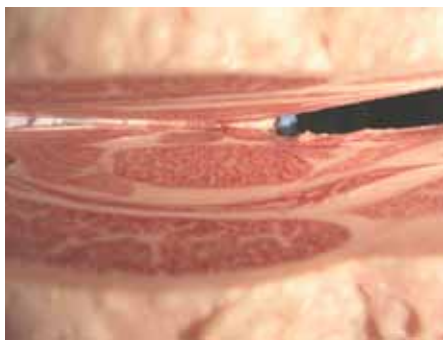
産肉能力検定（現場後代検定法）成績の概要

脂肪交雑およびロース芯面積が岩手県出荷平均を上回る結果となりました。

特に脂肪交雑では平均7.7と高い値を示し、平成17年9月の脂肪交雑の育種価評価で1,221頭中第1位を記録しました。肉質等級4・5率は93.3%、5等級率でも60.0%と極めて優れました。

産肉能力の特徴と交配ポイント

肥育素牛生産の場合、枝肉重量がやや小さくなる傾向があるので、大型の母体への交配が望ましいです。また、「菊谷」産子への近親交配は避けたいようお願いします。糸桜系や気高系などの発育性に富んだ母牛との交配で肉質・重量ともに優れた能力を持つ産子が期待されます。



去勢
母の父：菊谷
祖母の父：菊谷
枝肉重量：392kg
A5
ロース芯：63cm²
BMSNo.11
第48回岩手県畜産共進会
(牛肉の部) 名誉賞



去勢
母の父：藤桜
祖母の父：賢深
枝肉重量：422kg
A5
ロース芯：58cm²
BMSNo.9

担当研究室 畜産研究所 種山畜産研究室